

たかす議会だより

2024年5月7日発行

たかす

No. **194**

令和6年3月定例会号

(町花「マリーゴールド」の和名)

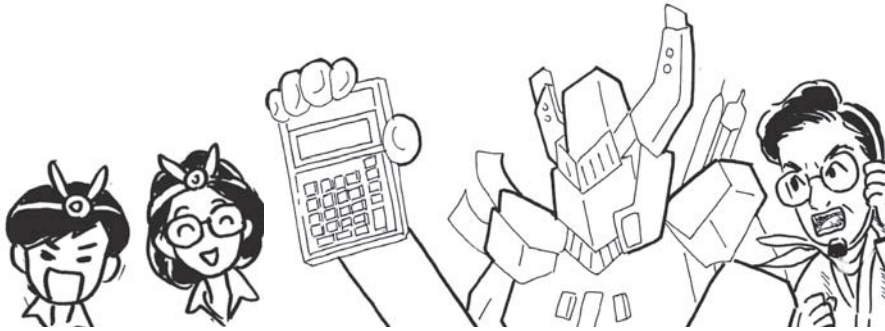
題字 松平さくら

ヨトウヤーン

好きな色にぬってね!

市街地活性化の現状は
不登校対策の充実を
今後のごみ対策





新規事業

公共施設等へ空調機器の整備

4億円

【主な施設】

役場・消防庁舎、各住民センター、サンホールはぴねす、学校、給食センター、メロディーホール、総合体育館、海洋センター、教員・ALT住宅、放課後児童クラブ、リサイクルセンターなど

新規事業

町民サービスの向上と業務の効率化へ

7689万円

- 証明書のコンビニ交付：マイナンバーカードを利用し、役場閉庁時や遠隔地でも取得が可能に（12月開始予定）
- 書かない窓口：手続き時の繰り返し記入負担を軽減
- 施設予約システム：公共施設のオンライン利用予約が可能に（順次開始予定）
- 議案のペーパーレス化：一般職へノートパソコン、議会や町長・課長等へタブレットを配備

新規事業

地場産業振興施設整備事業

2000万円

地場産業による地域活性化を促すため、とわ北斗ワイナリー建設に対する整備費用の一部を補助します。

一般会計72億6100万円の大型予算です。新規事業では、小中学校・公共施設のエアコン設置事業や北野地区国営緊急農地再編整備事業完了に伴う償還金のほか、保育園改修事業、住民票等のコンビニ交付事業にも取り組み、皆さんが生活しやすい活力ある「あったかすのまちづくり」を目指します。



谷 寿男 町長

〈もくじ〉

- 4 過去最大予算の内訳は
予算・執行方針に対する質疑
- 10 介護保険料・ごみ袋料金
改定 議論
令和6年第1回 定例会
- 12 6名が一般質問
青野・阿戸・安達
片山・斉藤・坂根
- 19 追跡レポート 臨時会
登録有形民俗文化財認定
今後の動き！
- 20 委員会の動き
3常任委員会3か月の動き
- 23 議会の動き
今回の表紙 研修報告



過去の議会報「孔雀草」で関連のある記事を表しています。

くじやくそら クイズ

商品券1000円分が
抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。答えはこの議会報「孔雀草」の中にあります！

問1 令和6年度一般会計予算は過去最高額の○○.○億円です。

問2 資源ごみのごみ袋販売料金が10月より○○○円となります。

問3 ○○○○○○○等利用児童生徒支援助成事業について付帯意見を付しました。

応募方法などは24ページに記載しています

ウェブでも回答できます▶



72.6 億円の大予算



事業拡大

がん検診料金が安くなりました

898万円

基本の健康診断である特定健診や胃・肺・大腸がん検診が30～69歳の場合、約2万6000円を2500円で受診できます。

人間ドック医療機関拡充

吉田病院に加え、旭川厚生病院と市立旭川病院で受診できます。

Interview Takasu

2人に1人が罹る、がんの検診が安く受けられるのは良いことだと思います。私も毎年受けています。

渡部 喜代美さん（北野）



新規事業

北鷹栖団地建替え

1億7900万円

木造平屋建て1棟4戸の整備工事

事業拡大

低炭素化促進事業

590万円

宅配ボックスの購入費用を助成ほか

ゼロカーボン推進。運送業者の効率化と排出される温室効果ガスを削減するため宅配ボックス購入費用を助成します。事業費50万円。



Interview Takasu

仕事で留守日が多い人には便利。再配達の手続きの手間もなくなります。

30代夫婦の声

予算のポイント

令和6年度の当初予算額

72億6100万円 前年度比21.7%増

自主財源は全体の24%の約17億円

※令和5年度の自主財源は全体の28%



予算の詳細は「広報たかす4月号」をご覧ください



広報たかす
4月号

新規事業

国営緊急農地再編整備事業

6億3900万円

北野地区の国営緊急農地再編整備事業の完了に伴い、事業償還金の支払いがはじまります。



大石 隆 議長

予算が計画どおり効果的に使われるか1年間しっかりとチェックしていきます。今定例会も鷹栖町の未来に向け、熱心な議論を行いました。平日開催でしたが、多くの傍聴者が来られ、少しずつ議会への関心を持たれる方が増えてきていると感じています。

次は予算審査 (P4~P9)

予算 審査

町民も気になる 過去最大予算の内訳は

執行方針に対する質疑や予算審査特別委員会では多くの質疑を行いました。例年より多くの方の傍聴もありました。主な質疑を要約してご紹介します。

市街地活性化の今後は

青野 鷹栖地区市街地再開発の商業施設と、高齢者も含めた居住施設の整備について、現状と今後の予定は。

町長 有利な補助事業活用のタイミングを考えています。希望的観測で言うこと、最短で2025年1月を目標に計画しています。

まちなか新団地は、それが正式に決まってからになりますので、その後年度に計画をしていきます。



住民説明会は2023年7月に開催

旧農業倉庫の解体後は

林川 解体について、利用していた団体の意見は。代替施設は。

町長 天井が一部落ちたため、利用していた野球連盟にも了解をもらい、解体することにしました。

代替施設を新たに建設することは考えていません。活用できる建物がないか検討します。



屋内練習場の検討を

農業倉庫に代わる屋内練習場の必要性について2020年12月定例会で桑原議員が一般質問しています。

181号
10頁

ふるさと納税の達成は

川原 2021年以降、寄付額が減少傾向にありますが、2024年度は6000件の寄付を想定しています。どのように達成していきますか。

まちづくり推進課長 ジンなどの新たな返礼品を見込んでいます。

2023年度は蜂蜜を小瓶にすることで件数が伸びました。年末の駆け込み需要に対応できる少額のラインナップを検討します。

マイナンバーカードを活用した申請システムの導入や、高所得者向けの窓口を増やすことで寄付金の増額を目指します。



町内全域の交通体系は

川原 地域公共交通計画の策定を視野に入れた交通体系の再構築に向け、具体的にどのようなことをしますか。

町長 町内ではNPO法人が有償旅客運送に取り組んでいます。

地域運営組織が視察なども行っています。2024年度から地域のニーズに合った交通体系の調査研究を進めていきます。

片山 運転免許を自主返納した方など、利用者への調査も行いますか。

町長 地域福祉計画の中で聞き取りを行います。交通弱者は課題と認識しています。



踏台で乗車。NPO法人「愛・び・すけっと」による送迎の一コマ

公共施設のエアコン

青野 31施設のエアコン102基の設備工事の発注方式は。

建設水道課長 各課単位の発注や、それぞれの施設の事情に合わせて、施設をまとめた発注を行います。

大きな工事は、一般競争入札による発注を計画しています。

青野 全道で発注が集中しますが、機材の調達と工期は大丈夫ですか。

建設水道課長 施設ごとに設置時期や工期を調整して施工します。



学校ではこれまで、暑さ対策として扇風機の複数台設置や窓への遮熱フィルム設置を行ってきています

紙製容器専用袋は

片山 紙製容器専用袋、来年度の進め方は。

町民課長 燃やせるごみが減ったこと、紙ごみの全体量が減ったことなどから効果があったと考えています。

2024年度は、ごみの説明会に参加した方に配るなど配布方法の変更を考えています。

片山 効果が出ているのであれば、変更の必要はないのでは。

町民課長 興味のない方のきっかけ作りになるように工夫していきます。1年かけて紙ごみを分別することを定着させていきます。



紙製容器は紙袋だけでなく、ビニール袋に入れて捨てることもできます



農業のICT化へ

舟根 無人トラクターの実証実験に先行して取り組む考えは。

町長 国・道などの補助金も活用し、農業者と共に考えていきます。

青野 農村地域DX支援員の雇用計画は。

産業振興課長 国のDX事業推進に向けた資格取得に取り組み、支援員は地元雇用を目指します。



あったかファームに設置された自動操舵のためのアンテナ

農業研修生の協力隊

片山 農業研修生の地域おこし協力隊は委託方式に変更されます。待遇面などはどのように変わりますか。

2024年度は野菜団地の整備が予定されていますが、研修生の営農先は確保できていますか。

産業振興課長 6期生、7期生は委託方式に変更します。保険などは自分で掛けることになりましたが、家賃などは今まで通り活動費の中から出せる予定です。

6期生の営農先は調整段階です。



農業分野でも協力隊が活躍中
3月地域おこし協力隊活動報告の様子

プレミアム付き商品券

片山 プレミアム付き商品券の飲食店応援チケットは、飲食店が新型コロナウイルスの影響を特に大きく受けたことで始まりました。現在もその傾向が続いている状況ですか。

産業振興課長 お客さんもだいぶ戻ってきていますが、宴会などはまだ影響が続いている状況です。

影響はまだしばらく続くと思われるので、2024年度も継続していきます。



プレミアム付き商品券は1冊5000円で6000円分の商品券と500円分の飲食店応援チケットが使えます

介護人材の確保

桑原 介護人材の確保に向け、外国人留学生・鷹栖高校の取り組みを行っています。中長期的な人材確保についての考え方は。

町長 外国人人材は2024年度は共生会に1名、2025年度は共生会に1名、さつき会に2名、就職予定です。鷹栖高校卒業生は2024年度、さつき会に1名が就職しました。

鷹栖高校2年生約25人が介護初任者研修を受講しています。地元就職していただくことを期待して積極的にアプローチし、人材確保に努めます。



レタシャさんは2022年からさつき会で働いています

「おじいちゃん、おばあちゃんが大好き」

Interview Takasu

母国では長生きする人が少ないので、大好きな高齢の方々と接する仕事はとても楽しく有意義な仕事です。

レタシャさん



インドネシア出身の22歳。日本には埼玉県での研修を含め、1年4カ月在籍。好きな食べ物はチキン、うどん

趣味はサイクリング、デザイン（写真の龍の年号を作成展示 父はグラフィックデザイナー）



水道管の耐震化率は

青野 震災地では水道管破損が発生する例もあります。本町の老朽管耐震化率は。

建設水道課長 耐震管布設率は14%です。耐震性を有する管路17%で全体の31%です。

残りについては、計画に基づいて老朽管布設替え工事を実施しています。

下水道会計独立採算を

林川 下水道を利用しているのは一部の町民だけですが、公共下水道会計に一般会計から出資金の形で繰り入れしていることは問題では。これをいつまで続けますか。また、一般会計へ返却するタイミングは。

副町長 公営企業会計ですので、独立採算の原理を考えていかなければなりません。しかし、老朽化した施設の更新も進めなければならず、償還は難しい状況です。

下水道使用料の見直しも含め、次の計画時にはしっかりと検証しながら考えていきます。



出資金の一部は都市計画税から充当されていますが、すべてを賄えてはいません。



家庭学習改善の必要は

川原 執行方針でも学校教育において児童生徒・教員ともウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態であること）の向上を図るとされています。

家庭学習が子供・家庭の負担になっているとの声を聞いています。子供の声を聞くことや改善が必要では。

教育長 宿題ありきではなく、自主的に家庭学習できる習慣の定着化は必要だと考えています。

子供の声を聴くことは大切だと考えています。



2023年4月施行された、こども基本法では子供が気持ちを表明したり、相談することを保障することが明文化されました。

鷹栖高校 存続に向けて

青野 近年、受験者数が減少しています。鷹栖高等学校存続の新たな振興策が必要では。

教育長 介護職員初任者研修が一番の強みです。学校訪問などで取り組みを説明し、存続に向け努めます。

鷹栖高校 入学者数の推移 ()内は町内者

2024年	19	(3)
2023年	31	(12)
2022年	37	(4)

町は鷹栖高校へ入学準備金として一人あたり13万円の補助や、特色ある教育活動を広く町内外へ伝えるためパンフレットの作成に補助をしています。



電子書籍の導入は

坂根 図書室へ電子書籍を導入する考えは。

教育長 旭川市で取り組んでいるので情報収集を行い、読書活動推進計画策定の中でも議論していきます。

旭川電子図書館 鷹栖町民も利用することができます



鷹栖町図書室では、町民の皆さんと一緒に作り上げていく取り組みとして「本棚リレー」を行っています。

おすすめの本と、思い出やコメントいただいたコーナーです。貸出もできますので、ぜひご覧ください。



予特委員会から付帯意見

教育委員会や学校との連携を

フリースクール等利用児童生徒支援助成事業

この事業は不登校の児童生徒が将来的に社会的に自立できるよう、町が認定するフリースクール等を利用する子供の保護者に支援するものです。

教育事業ではなく福祉事業であることもあり、教育委員会や学校との連携について、多くの質疑がありました。

質疑の中で、事業見直しの提案もありました。

予算審査特別委員会として提出した意見書には、この事業に対しての付帯意見を付しています。



2023年度の町内の不登校児童生徒数は小学校8人、中学校12人で増加傾向にあります

増える不登校児童生徒

鷹栖町の2018年度からの不登校児童生徒の平均人数は年間15.2人、全校児童生徒に対する割合は3.59% (2022年度) で全国平均3.2%に比べ高めです。

教育支援センターとは、校外にある不登校児童生徒の公的な支援機関のことで、以前は適応指導教室と呼ばれていました。

付帯意見

フリースクール等利用児童生徒支援助成事業については、教育委員会、各学校と連携し、事業拡大を行うこと。

町全体で不登校対策について真摯に取り組み、実情に合った教育支援センター整備に向けた取り組みを進めること。

主な質疑

この事業に関して、多くの質疑がありました。その一部をご紹介します。

青野 不登校児童生徒の自立策として、今回の助成だけで対策となると考えていますか。教育部局と保護者の連携が重要では。

片山 学校への復帰を目指していますか。また、事前に学校とはどのような話し合いをしていますか。

町長 保護者への経済的負担を支援することを目的としています。児童生徒の気持ちに寄り添い、しっかりと支援に取り組みます。

教育長 学校に来てもらえるのが一番よいと考えています。教育委員会としてもさまざまな不登校対策を行っています。

川原 今回の事業が学校と家庭の分断につながらないか危惧しています。丁寧な説明が必要では。

今回の事業について学校への報告はしていますが、教育委員会として打ち合わせは行っていません。(定例会中に臨時校長会議を開催しました。)

教育長 分断にならないよう努め、学校にも足が向くように取り組みます。

斉藤 フリースクールに限らず対象を拡大することを考えては。

林川 フリースクールを全面的に支援していくのですか、教育長の考えは。

また、教育支援センターを早急に設置する考えは。

教育長 積極的に行くよう推奨する考えは持っていない。学校に行くきっかけの一つになればと考えています。

町長 対象を広げることを検討します。

教育長 町独自の教育支援センターについてもしっかりと検討します。

令和6年第1回定例会

介護保険・ごみ袋

料金改訂 議論

条例 第9期介護保険料改定
3年ごとに見直し 13段階に多段階化



どうかわる?

介護保険制度の持続可能性を確保する観点から国の基準変更に伴い、次の点で改定。
①所得の再分配機能を強化するため、段階を9区分から13区分に多段階化します。
②乗率について非課税世帯の割合を引き下げ、今回新設する第10段階から13段階まで（合計所得金額420万円以上の方）に係る割合を、高く設定します。

段階	区分	保険料	人数
1-3段階	非課税世帯	減額	974人
4-9段階	課税世帯	変更なし	1289人
10-13段階		増額	47人

※ □は新設の課税段階
※基準額は第5段階で、月額6700円（年間8万400円）第8期と同額

定例会あらまし

令和6年第1回定例会を3月5日から8日に開催しました。
1日目、一般質問。6人の議員が登壇しました。【質問内容はP12-18】
2日目、令和5年度一般会計補正予算、条例改正の議案審議を行いました。
3日目、町政・教育行政の執行方針に対する質疑の後、予算審査特別委員会による予算審査を行いました。【P4-8】
最終日、予算審査を行い、原案の通り可決しました。なお、予算審査特別委員会報告書において、フリースクール等利用児童生徒支援助成事業について付帯意見を付しました。【P9】



議案一覧はこちらから

可決
反対1名

林川

林川 新設された所得金額が420万円以上の対象者による収入増加額は、緩和措置として基金や繰越金で補てんできませんか。

健康福祉課長

1年間

で187万円の増加を想定しています。

低所得者の負担軽減や基準額を8期と同等にするために大幅に基金を活用しています。高所得者の増額分に充てる考えはありません。

反対
討論



林川 伸二

大幅増額は生産活動中に周知して行うべき

合計所得額が420万円以上の方にとっては、大幅な増額です。

対象者は47名の方で全体の2%だからよいとはなりません。

生産活動が終わってからの増額でなく、1年間の猶予期間を設けるべきと考え反対します。

賛成
討論



桑原 芳文

所得に応じた負担増加は止むを得ない

介護保険制度を維持確保する中では、所得に応じた負担増加は止むを得ないと考えます。

多段階化、乗率の変更、設定を検討しなければならぬ時期と理解します。必要なサービスを利用できる環境を維持するための適切な対応と考え、賛成します。

条例

資源ごみの袋売渡価格の見直し

鷹栖町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

物価高騰によるごみ袋作成価格の上昇により、資源ごみ指定袋の販売料金の見直しを行います。

また、ごみ減量・リサイクルの推進にむけ、新たな減量目標を設定しました。



どうかわる？

資源ごみの袋10枚の価格
2024年10月より
110円から200円へ

価格見直し後、在庫分のごみ袋を使用できるように当分の間、処理シール（1枚9円）を販売します。
※買いだめの効果はありません。

し尿処理手数料50円10リットル
959円から946円
汚泥処理手数料5010リットル
359円から346円

林川 処理シールの作成に要する費用と時間は。また、処理シールの販売期間は。

町民課長 作成費用は9円〜10円位と考えます。時間と労力は業務内で行いますので問題ありません。

シールの販売期間は状況を確認して決めます。

青野 前回の改正時は、シールの販売時期が過ぎた後、家庭内で在庫が見つかると思えないケースが目立ちました。

購入した袋が無駄にならないように、シールの販売方法と販売時期についてしっかりと取り組みが必要です。

町民課長 家庭内の在庫量の把握をするよう住民へ周知します。改正前に購入した袋が無駄になることが無いように、処理シールの販売期間等についても対応します。

反対討論



林川 伸二

費用対効果が非常に悪いと考えます

処理シールは、価格差があれば効果があると思いますが、行財政改革を進める中で、費用と手間が掛かり過ぎです。

行政や小売店、使用者にもメリットがある方法ではなく、独禁法違反の可能性もあります。

シールを買いに行つて貼る手間暇のない方法が良いと思いますので、反対します。

賛成討論



川原 允

差額シール販売は手段として妥当と判断

ごみ袋購入時、90円の差額は買いだめを助長してしまうと考えます。

これまでも料金改定の際、買いだめをする方が一定数いたことを考えると、販売店からごみ袋がなくなるのが懸念されます。

シールを販売する以外に有効な手段がない状況と理解し、賛成します。

可決
反対1名

林川

3年間の新たなごみ減量目標はこちら！



ごみは処分場で、手作業で一つ一つ再分別されています。

2023年度は利用者がいないため減額補正しました。一括して授業料を貸付でき、入学時など一時的に資金が必要な状況に素早く対応するため、幅広い貸付事業を継続します。

健康福祉課課長
松本 宗平

修学資金貸付事業
多様なニーズに対応支援継続







補正令和5年度最終補正
事業完了による減額等

	補正額	補正後額
一般会計	△1704万円	64億6767万円
国民健康保険	1173万円	8億2307万円
介護保険	△1398万円	9億4622万円

(万円未満四捨五入)

ごみ袋の価格見直しの際、処理シールによる差額分の対応は平成27年から実施しています。

新人議員2名が一般質問デビュー 傍聴者は16名

質問議員	質問内容	総合振興計画での位置づけ	頁
青野 敏	地域おこし協力隊のビジョンは	 「幸せな交流があるまち」 施策⑳	13
阿戸 伸一	人口減少の中での農業振興策は	 「幸せなしごとをつくるまち」 施策⑩	14
安達 一幸	ごみ対策の将来ビジョンは	 「幸せな環境を持続するまち」 施策⑰	15
片山 兵衛	環境に優しい農業を	 「幸せなしごとをつくるまち」 施策⑩	16
斉藤 哲子	わが町の防災体制の状況は	 「幸せな環境を持続するまち」 施策⑮	17
坂根 玲子	DXの推進を	 「幸せな環境を持続するまち」 施策⑯	18

一般質問の内容と関連する第8次鷹栖町総合振興計画の施策を記載しています。総合振興計画は右のQRコードからも確認できます。



6名の議員が町政を問う

一般質問

争点の提起

「傍聴してよかった」

Interview Takasu



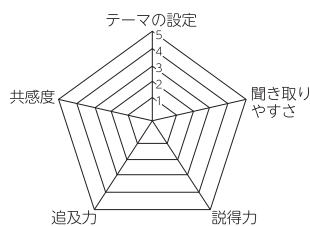
坂根議員の質問を聞いて、DXの活用でもっと大きな輪を広げ生活できることができれば素敵だと思いました。斉藤議員の防災体制の話も勉強になりました。備蓄などもっと地域単位で考えた方が良いと感じました。とても良い提案ばかりで、傍聴して良かったです。

荒永 芳子さん（北野）



こちらから質問内容を紹介した動画をご覧ください

通信簿の評価



一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています

「議会の動きを知っておきたい」

Interview Takasu

安達議員の質問は総務文教常任委員会を代表したものであったのでわかりやすかった。町内会の役員をしているので議会の動きを知っておきたいと考え、傍聴している。ごみの回収方法については町内会でも議論が必要と考えています。

山田 覚さん（北野）



一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につながる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。



【ひとことコーナー】通信簿に書かれた各質問議員への傍聴者の方からのコメントの一部を、なるべく原文に近い形でページ下部に掲載しています。たかす議会だより



地域おこし協力隊のビジョンは

町長 協力隊の新たな発想を取り組み、活性化に取り組む

地域おこし協力隊の待遇などについては、総務文教常任委員会でも調査研究を行なってきました。それを踏まえての一般質問です。



懇談会のほか、「読まない読書会」で協力隊のみなさんとの交流もしています

平 成29年6月から観光振興、移住定住等の多岐にわたる分野で、20名の地域おこし協力隊が活動をしています。
町長 地域おこし協力隊を募る目的と効果の明確なビジョンが必要では。
町長 地域おこし協力隊の目的として、地域力の維持強化と、隊員の地域への定着・定住があります。地域と隊員個人の二つの視点で将来を見据え、受入体制やサポート体制を整え

ていく必要があると考えています。

質問 ビジョンを実現するための具体的なルールとマネジメント体制は。

町長 地域おこし協力隊の担当はまちづくり推進課が事務局を担っています。2、3年後のことも含め、定期的なミーティングの中で打ち合せています。卒業後については、起業や就業など、具体的な打ち合わせをしています。

質問 地域の課題に対し住民と協力隊が一緒に取り組む体制が重要です。本町の雇用形態とサポート体制は。

町長 募集の機会に、隊員が取り組む業務内容や特性、隊員個人のニーズも勘案し、任用形態について総合的に判断しています。隊員同士が課や係の垣根を越え、協働するケースが増えています。こうした良い動きが継続できるようにサポート体制を継続していきます。

質問 役割と協力隊との間に入り、採用から管理・出口までサポートする第三者組織や、OB・OGと連携する組織が必要では。

町長 役場の仕事を中心にさせ過ぎて、起業や定着ができなかった過去の反省を踏まえ工夫をしてきています。OB・OGとの連携は自然にできている状態です。何かあったときには相談できるような良好な関係もできています。

質問 協力隊員の研修会や勉強会への参加を支援する考えは。

町長 道外などの研修に参加し研鑽を深めることを継続して行います。各町村協力隊との研修も重要なので積極的に行っていく予定です。

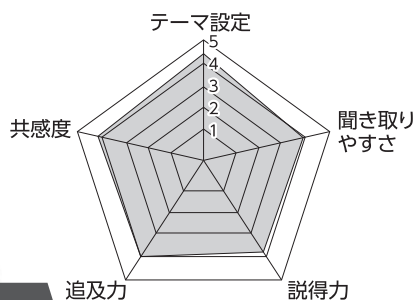
質問 地域おこし協力隊員の起業や就業に対し、特段の配慮が必要では。

町長 地域と隊員個人の視点から将来を見据えてサポートしていくことを基本としています。各隊員にとってベストな選択に向け、今後も相談や支援を継続していきます。今後も地域おこし協力隊の新たな発想を取り込み、町全体の活性化に取り組んでいきます。

町長 道外などの研修に参加し研鑽を深めることを継続して行います。各町村協力隊との研修も重要なので積極的に行っていく予定です。



あおの さとし 青野 敏 議員

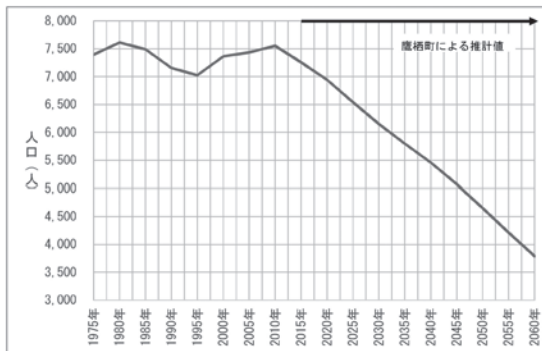


人口減少の中での農業振興策は

町長 情報を提供しながら各生産者のニーズに沿って対応する



【図表1】 鷹栖町における総人口の推移と将来推計



※2015年までの総人口は住民基本台帳より作成。2020年以降は鷹栖町推計値より作成。

人口減少とともに農業人口も減少していくことが危惧されます(グラフは鷹栖町人口ビジョンより)

農 業人口減少において、現在の農地面積を守るべく経営規模拡大が可能な経営体の育成および支援への考えは。

町長 法人化はすべての生産者が取り組めるものではなく、個別の営農形態に合わせて対応する必要があります。

法人化を有効な手段として研究し、情報を提供しな

がら各生産者のニーズに沿って対応していきます。

質問 法人経営体の増加に伴い、経営相談や調査研究、情報共有などができるとなっているのでは。

町長 JAなども一緒に相談をしながら、これらの体制を整える検討も必要だと思います。

ら各生産者のニーズに沿って対応していきます。

質問 条件の悪い水田では水稲以外の作物で農地を守ることも必要です。畑地化促進事業への考えは。

町長 10年から15年後の将来を見据えた、「地域農業を考える会」で、将来的な農地利用の具体的な色づけ作業を進めています。

JAとも畑地化による作物振興について協議し、地域と共に相談して計画を立てていきます。

質問 農業に活躍の場を求める農村地域での雇用創出について「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況は。

町長 基本目標「地域資源を生かして幸せなしごとをつくる」に関連しての数値目標値は到達が見込める状況です。

新規就農者の確保などの担い手育成対策や、地域の

農産物を生かした産品開発や磨き上げ、品質の向上など取り組んできました。

これらの積み重ねてきた取り組みが一定程度、成果として発現しているものと認識しています。

質問 次期総合戦略への考えは。

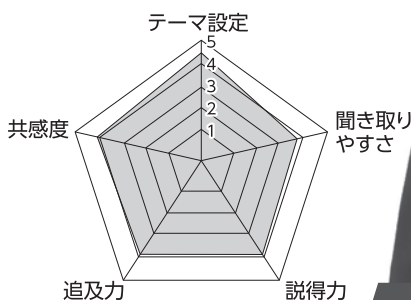
町長 国は従来の総合戦略を抜本的に改訂し「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

本町の総合戦略も国の動きに合わせて1年前倒しでの抜本改訂を進め、2024年度から新しい計画期間とする策定作業を進めています。

質問 関係人口の創出拡大と、農業に関わる地域コミュニティの維持のため、



あと しんいち 阿戸 伸一 議員



町長 農業を基軸として地域資源やデジタル技術の活用により、地域活性化を目指す「デジタル活中山間地域」に本町が登録されました。

今後、地域の課題解決に必要な内容や機会を見極め、農山漁村振興交付金だけでなく、有効な支援策を積極的に活用していきます。

国の農山漁村振興交付金を活用する考えは。



「高齢の両親がトマト農家をしており、そのうち離農してもらおうと思ってましたが、自分でも跡を継ごうかと思いました」

環境に優しい農業を

町長 他自治体や民間の事例を参考に調査研究する



町内では、生産者が自主的に子実とうもろこしを試験的に栽培しています

炭素の吸収量が多く地球温暖化対策にも貢献するそうです。

2023年12月には法律も改正されました。調査研究を進めては。

町長 生産者に課されるハードルは通常の作物よりも高いと感じています。生産者や作付面積が増えるのか注視する必要があります。新規作物の一つとしてとらえ、生産者の声を聞きながら、国や北海道の動向など情報収集を継続していきたいと考えています。

質問 ヘンプ（産業用大麻）は医薬品、繊維などさまざまな利用が見込まれ、無駄にする部分がないという優れたものです。生育が早く、農薬も不要、土壌の改善にも効果があり、二酸化

質問 バイオコークスはもみ殻、そば殻に限らず落

町長 重要なことなので行いたいと考えています。

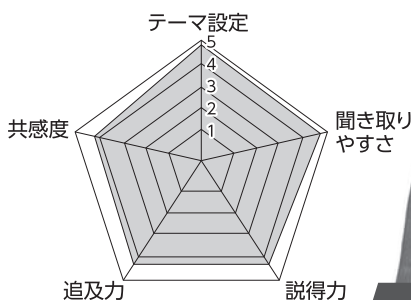
質問 農福連携について、進捗状況は。身体障がい、高齢の方も含め幅広い考え方で取り組む考えは。

町長 高齢者については生涯現役地域づくり環境整備事業で取り組みを進めています。

質問 現在、農業ヘルパー制度について、社会福祉法人を含めた関係者で協議・研究しながら、本格運用に向けた取り組みを2024年度から行う予定です。



かたやま ひょうえ
片山 兵衛 議員



新 規作物として注目する作物は。

また、限られた資金、開発力をどう使っていきますか。先行するトマト、キュウリとの兼ね合いは。

町長 基幹作物のキュウリ、トマトを軸に支援する考えは変わっていません。新たに農業DXを推進することで効率的な営農ができるかと期待しています。

新規作物の栽培はまだ本格化には至っていません。今後側面的に支援していきます。

質問 ヘンプ（産業用大麻）は医薬品、繊維などさまざまな利用が見込まれ、無駄にする部分がないという優れたものです。生育が早く、農薬も不要、土壌の改善にも効果があり、二酸化

町長 重要なことなので行いたいと考えています。

質問 農福連携について、進捗状況は。身体障がい、高齢の方も含め幅広い考え方で取り組む考えは。

町長 高齢者については生涯現役地域づくり環境整備事業で取り組みを進めています。

わが町の防災体制の状況は

町長 令和6年度中に次期地域防災計画を改定

非常時持ち出し品チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。
いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持ち出し品(例)

携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	救急医療品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 胃腸薬	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 権利証書	懐中電灯 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(できれば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
非常食品等 火を避さないで食べられるもの、食料など <input type="checkbox"/> 非常用食品 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 検抜き <input type="checkbox"/> 紙コップ		その他 <input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着など) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ラップフィルム(止血や食器にがぶせて使う) <input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ(本書)	

非常時の持ち出し品をチェックしましょう 鷹栖町ハザードマップより

1 月1日に能登半島の大きな地震の報道を目的の当たりにしました。本町の地域防災計画と、防災会議の開催状況は。

町長 新たな避難情報などの反映が必要で、令和6年度に地域防災計画の改定案を鷹栖町防災会議に諮る予定です。

質問 鷹栖町防災会議は22名の委員のうち女性委員が1人もいません。女性の視点を取り入れることは重要で、ぜひ3割の7名ほどは女性の委員を入れては。

町長 地域運営組織から女性を推薦していただき、委員として委嘱し、女性の意見を反映させます。防災士についても地域運営組織から推薦をいただいた方の研修費や旅費を助成します。

質問 災害時の非常食・水・トイレットペーパー等さまざまな防災備品の備蓄があります。整備状況と、更新についての考えは。

町長 鷹栖町防災備蓄計画では、避難想定人数を人口の1割程度と見込んでいます。食料等は7割が避難者の持ち出し品、2割を連携協定を結んだ流通備蓄と想定し、残り1割を町が備蓄しています。

質問 町では発生後の2日分約500食を基本とし、レット食品やアルファ化米、乾燥みそ汁、飲料水を備蓄しています。保存期間が一定程度経過したものは、防災訓練等で、普及啓発の意味も含めて参加者に配布しています。

町長 おむつや生理用品、トイレットペーパーなどの備蓄もしています。使用期限を設定していないものもありますが、製造後3年間を目安に状態を確認しながら更新を図ります。

質問 想定外の災害が起きることを見越して、各家庭でも食料や水などの準備をするよう呼びかける必要があります。どのように働きかけを行いますか。

町長 ハザードマップに持ち出し品チェックがあります。それを確認し、各自で判断し準備してほしいと考えています。

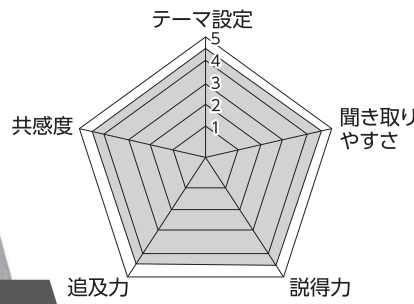
また、各地区で地域防災組織の設立をお願いしています。その中で女性の意見を出していただき、取り組みを進めていきたいと思っています。

町長 災害時に町がすべてを準備することは難しいことです。ハザードマップに持ち出し品チェックがあります。それを確認し、各自で判断し準備してほしいと考えています。

また、各地区で地域防災組織の設立をお願いしています。その中で女性の意見を出していただき、取り組みを進めていきたいと思っています。



さいとう てつこ
齊藤 哲子 議員



DXの推進を

DXとはデジタルトランスフォーメーションの略、デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

町長 必要なことを、話し合いながら進めていきたい



民間事業者の協力でスマホ教室を開催しています

DXが推進されれば、職員の負担減になると考えます。将来に向けた総合的な考えは、

町長 職員向けのDX推進方針を策定しました。町民サービスの質の向上や政策立案などに注力できる環境づくりを目指しています。

DX活用の有益性と、福祉のまちづくりの利点も考

え合わせながら、健康な生活がえられる環境づくりに努めます。

質問 住民がデジタルに不慣れでは効果は得られませんか。方針の実現に向けた町長の意気込みは。

町長 DXの目的は、仕事を効率化し、住民サービスを向上することだと思っています。

しかし、DXはお金もかかるので、鷹栖町に必要なことを皆さんと話し合いながら進めていきたいと考えています。

質問 高齢者の一人暮らしが増えることにより、支援が一層必要になると思います。

スマートスピーカーなどの機器が見守りの補助的なものとして有効では。

町長 現在、民生児童委員や福祉委員などが、一人暮らしの高齢者世帯等に定期的な訪問活動をしています。しかし、人口減少に伴い、見守り活動を担う人材が限られています。

デジタル技術を活用した見守り活動について、地域の意見も伺いながら2〜3年のうちに調査研究を進めていきます。

質問 デジタル機器は健康の維持管理、認知症予防などにも役立ちます。

また今後、買い物やバス、タクシーの予約など多様なサービスがオンラインで出来るようになっていくと考えられます。

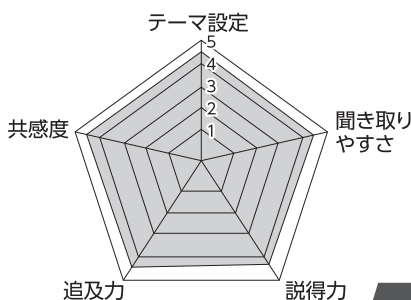
高齢者が苦手意識をもたずデジタル機器に親しむための工夫は。

町長 楽しく学べる講座や段階的に理解を深められる手法について、地域運営組織とも連携を図りながら進めます。

質問 子供たちは、当たり前のように機器を使いこなしています。子供たちに機器の使い方教えてもらう場を持つ考えは。



さかね れいこ 議員
坂根 玲子



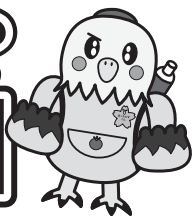
町長 集まりやすい環境で、楽しく学べる機会を検討していきたいと考えています。

質問 高齢者にデジタル機器を無償で貸し出し、体験してもらうことについての考えは。

町長 2024年6月から採用するデジタル専門職員（DX専属の職員）にもアドバイスをいただきながら進めていきます。

「質問が良かったのか、町長の答弁はいつもと違ってとても納得のいくものでした」「タブレットの導入は考えてほしい」

どうなった? あの質問



一般質問のその後を追跡!

今回、追跡するのは
令和4年12月川原議員の質問

189号
19頁



議員が行う一般質問が、町政にどう反映されているのか追跡します。これまで別紙で配布していましたが、今期から議会報「孔雀草」に連載します。

川原 国文化財の登録に向けた取り組みは郷土資料を生かしたまちづくりの契機に

川原 国文化財の登録に向けた取り組みは郷土資料を生かしたまちづくりの契機に

国の指定に向けた動きを町民に知ってもらう機会として、令和5年1月に社会教育フォーラムを開催し、7月には馬耕体験も開催。

いま

北海道初!
郷土資料館に所蔵される「装蹄用具及び関連資料」399点が国の登録有形民俗文化財に登録

これからのつぎ 定例会でも明らかに

令和6年度 臨時開館日も郷土資料館は市街地活性化でも重要な案件

川原 執行方針で示した町内外へのPRとは。
教育長 2024年度は

はお盆やお正月など臨時開館日を設けます。
※3月には登録を記念し、文化庁の加藤調査官が保存と活用について講演を行いました。

川原 老朽化した資料館。管理の面での対応は。
町長 本町は農業の町であり、農耕文化は非常に大切なものです。

馬具を観光資源として活用したり、町民の誇りになるよう活用していきます。施設の管理について市街地活性化の中でも重要な案件です。

Interview Takasu

1960年代まで農耕・運搬の主軸を担った愛馬たちのひづめを整える様子は春の風物詩として記憶に残っています。この情景の復元に尽力された方々の熱意、思いに敬服し、文化財登録のいま伝承にも力が入ります。

文化財審議会 増田 悦生さん



Interview Takasu

学びの楽しさや鷹栖の良さを感じてもらえるような四コマ漫画が始まります。ぜひ「広報たかす5月号」もチェックしてください! オサラップまちづくり研究会 平山 はじめさん

1/30

第1回臨時会 物価高騰へ対応策

住民税均等割のみ課税世帯に一世帯あたり10万円・子どもがいる住民税非課税世帯等へ国の施策に基づき迅速に支援を行いました。

国実施

国の実施する住民税非課税世帯子ども加算分の給付事業は120世帯に対して給付しました。

一人あたり5万円
事業費 6000万円

町独自

子育て応援給付金 給付事業

0歳から18歳の児童のいる世帯約900世帯へ給付金を実施。国の施策の対象外の子どもに対して町独自の支援を行いました。

一人あたり1万5000円
事業費 1350万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用(補助10/10)

次は委員会レポート

総務文教 広報広聴

総務
文教

ごみ問題を総括

1年間の調査、そして提言としての一般質問

総務文教常任委員会ではごみの減量を2023年度のテーマに設定し、調査研究を行なってきました。

ごみ処理場での分別体験や町民のみなさんとの懇談会も開催しました。

ごみ減量 節目の年

2024年度はごみの減量目標の最終年度であり、環境審議会では2024年度以降の減量目標などについて答申書を提出しています。

答申についても委員会で確認し、環境審議会のみなさんとの懇談会を開催しました。

一般質問の形で提言

これらを踏まえ、委員会で課題を整理し、担当課と

ごみ処理場調査 分別体験



2023
10/27

ごみ処理場の現状を確認後、プラスチック、缶ごみ、ペットボトルごみの分別作業を行いました。

ごみ減量をテーマに 語ろう会開催



1/15

講師の方をお招きし、町民の方とごみ減量をテーマにSOUNDカード体験会として懇談会を開催しました。

環境審議会の委員 8名と懇談会



1/26

町のごみ処理について協議する環境審議会の委員との懇談会も開催。課題や今後についてご意見を伺いました。

の協議を重ねてきました。

1年間の活動の総括として、委員会を代表して安達議員が一般質問を行いました。(15ページ参照)

定例会終了後には、議事録を確認しながらの振り返りも行いました。



年度途中から地域おこし協力隊についての調査も行いました。こちらは青野議員が一般質問しました。

2024年度は新たなテーマを設定しますが、生ごみの処理方法と排出方法などについては引き続き調査研究していきます。

2024年度 調査研究テーマ 「学校」

2024年3月に発表された学校の配置計画では、当面は現状を維持する方針が示されましたが、今後も調査研究が必要と考えています。

また、不登校児童生徒の増加への対策も必要です。デジタル教育の状況も併せ、1年間の委員会のテーマとしていきます。



鷹栖中学校の卒業式 卒業生は60名でした



町民の声「シート」への回答 語ろう会で出たご意見への回答です

紙とデジタル、効果的に使い分けを

委員会としても紙ならではのよさを認識していますが、一方でデジタル活用による効率化、二酸化炭素削減効果、ごみ減量など期待できることも多くあります。効果的な使い分けや、デジタル端末を安心して使ってもらえるための方法も行政とともに考えていきます。

ペーパーレス化は不安
高齢なのでついていけない…

一般質問で提言、継続して調査

ごみ減量は委員会でも2023年度のテーマとして設定し、右のページにあるように、調査研究してきました。

「語ろう会」でいただいたご意見もそれらを踏まえ、一般質問の形で提言しましたが、これで終わりではなく、引き続き調査をしていきます。

ごみ捨てが大変
燃やせるごみが減りません…

情報をもとに担当課などとも相談

対策としては提案のあった段差等をつけるなどが考えられますが、慣れてしまえば効果は薄れます。一部のマナーの悪い運転者への対策をどうするかは課題です。

生活道路での危険箇所等は担当課などと相談しますので、情報提供をお願いします。

交通安全対策を
物理的に減速させられないか

広報 広聴

議会報実態調査 シールアンケートを実施 2024年度の活動にも活かす調査結果に

8月の語ろう会では「このくらいの方が議会報を読んでいるのか調査をしてみてもいい」とご意見をいただきました。

そこで、各地区の文化祭に議会の発行物を展示し、シールアンケートを行いました。

数の正確な分析は難しいですが、議会のことを知っていただく一つの機会になりました。



全国的に注目を集める議会案内チラシを作品として展示しました。

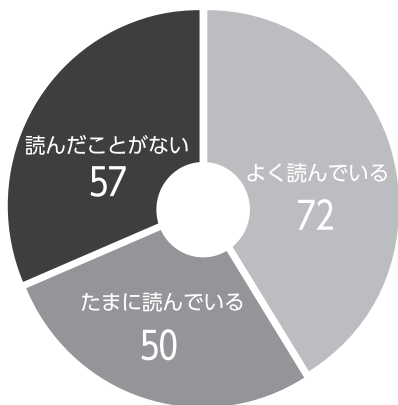
2/14

議会報を読んで語ろう会

平日の日中に北野地区で、開催しました。

散歩の際、たばこのポイ捨てが多いことや不登校児童生徒への対策が必要という声が聞かれました。2024年度の「議会報を読んで語ろう会」は、8月と2月の2回開催予定です。ぜひご参加ください。珈琲を用意してお待ちしています。

議会報実態調査 シールアンケート結果



議会報を読んだことのない方の多くは10代-30代の若い世代でした。



語ろう会には9名の町民が参加されました。若い方の参加もあり、鷹栖の魅力を語る場面には勇気をもらいました。



次は、経済福祉委員会と議会の動き

経済
福祉

東神楽町へホップ栽培の状況視察
市街地除雪の改善について町と意見交換

2/18
新規作物の調査研究
ホップ栽培を視察

2020年より東神楽町でホップを栽培する株式会社ほっとファーム小滝健太郎さんに栽培状況についてお話を伺いました。



産業振興課・農業委員会とともに視察を行いました。

【調査報告】

水稲やピーマンを栽培しながら水田跡地で減農薬でホップを栽培。町おこしとして町内でビールとして消費される量の栽培を実現されていました。

3/21
除雪がさらに町の魅力へ

【建設水道課と意見交換】

降雪期でも走行しやすい路面が維持される除雪体制は町の魅力の一つです。

【委員会としての所感】
本町でも多品目少量栽培を実践する農業者もいます。近隣町の6次産業化による好事例を学ぶ有意義な研修でした。
本町の主要作物として推進する上で、収益性の高い作物についても引き続き調査研究を行います。

出荷するためには乾燥機などの設備投資が必要である点や市場が拡大しているため、消費者が飲んでみたいと思える付加価値のあるビールを作らなければビジネスにはならないという助言もいただきました。



町外の方が鷹栖町に来られた時「鷹栖町は除雪良いよね。」と言っていたこと多くありませんか。

しかし路線が狭くなる市街地は苦情が多いという課題も抱えています。
市街地の堆積場(空き地)の減少や道路環境からくる排雪の課題、町民からの苦情を把握しました。
委員会では、定期的に町内会単位で課題をヒアリングすることを提案しました。町民の理解を得るには町の除雪能力や出動の基準を町民が知る必要があります。



町民の声シートへの回答
語ろう会で出たご意見への回答です

パレットヒルズ

キャンプ利用者増加影響は...

パークゴルフの利用者の減少やキャンプ利用者の増加による管理団体の負担の増加に気づく機会となりました。

現在、ごみは利用者が持ち帰っています。

安定的な運営や利用者モラルの向上を図るため、管理者がごみを回収し、経費負担分を利用料金へ反映するなど、見直しも必要と考えます。

ヒグマの出没

町はどのように取り組む...

被害の予防策として担い手の確保に向けた町の支援策の効果を検証する必要があります。指定管理鳥獣への指定など国の動きも注視していきます。



出没情報は「ひぐまマップ」にて公開しています

農作物のフードロス

議会として何かできないか...

フードロスと規格外野菜を共通の課題として扱うことは難しいと考えます。中間支援団体が発足する際、事業に対して町が補助を行うなどが有効的と考えます。



町内の地域食堂あったか食堂では廃棄される野菜を活用したり、旭川のフードバンクとの連携も行っています



議会のうごき

2024年 2024年
1月20日 ▶ 4月18日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	3回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	16回



SNSで活動報告を行っています

【欠席状況】

坂根	経済福祉 (2/8)
	広報広聴 (4/11)
佐竹	経済福祉 (3/21)
斉藤	広報広聴 (4/2)

表紙

議会をイラストでデザイン

今回の

定例会案内チラシを鷹栖町生まれの漫画家日野あかねさんに描いていただきました。

ご家族の患ったステージ4のがんからの回復を描いた『のほん亭主がんなる』(ぶんか社)がメディアでも、とりあげられ、反響を呼びました。

近年、旭川で活躍した詩人小熊秀雄氏存在に感銘を受け、詩とイラストの個展を開催。

昨年10月、町内の図書室でも「民衆詩人小熊秀雄の世界」展を開催。町内外で活躍されています。



(貴重な初稿デザイン)

当初は議員が笑顔で、戦隊に変身する「かわいい」イラストを描いていましたが、「真剣な戦い」を表現してほしいと片山議員より要望があり、表紙のようなデザインになりました。

Interview Takasu

普段形式ばったものはすぐ睡魔におそわれてしまいます。しかし議会の議論は本音のやりとりが聞けて、とても有意義でした。答弁を後回しにせず、議会を中断してもすぐに調べ、しっかり答弁する行政側の姿勢も素晴らしいと感じました。チラシに求められた「真剣さ」が伝わってきました。

日野 あかねさん



次はわたしの一言 6月定例会の情報

10分間の事例発表の内容を考える中で、自分たちの取り組みを整理することができ、今後の方向性も考えることができました。発表も緊張しましたが、スムーズにできたと思います。

2日目は「若者の参画」をテーマに議会広報を考えるワークショップに参加。新しいアイデアにつながるような議論ができました。ほかの議会の方との交流で、発表ではわからない実情なども聞くことができました。



早速、今号から紙面構成に学んだことが活かされています

議員研修レポート

マニフェスト大賞の成果を振り返る

マニフェスト・アワード・コレクション

1/31
2/1

早稲田大学で開催されたマニフェスト大賞の成果を振り返るイベントにて「議会広報が変えた 住民とのコミュニケーション」の取り組みの1つとして事例発表を行いました。

片山議員レポート

議会報を作ることを目的にしてはいけない。町民の声をもとに議会や議員が活動し、その活動を広報紙で伝えていく。大切なことはこの好循環をいかに作っていくか、議会には問われています。先進事例を学び、住民自治における議会の役割を強く感じました。時代と共に変化していく議会の動きに今後もご注目ください。

川原議員レポート

議会報を作ることを目的にしてはいけない。町民の声をもとに議会や議員が活動し、その活動を広報紙で伝えていく。大切なことはこの好循環をいかに作っていくか、議会には問われています。先進事例を学び、住民自治における議会の役割を強く感じました。時代と共に変化していく議会の動きに今後もご注目ください。



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。

定年退職後は、家庭菜園を楽しんでいます



高田 由美子さん(天満地区)



女性部長として資料を整理しています

一年を振り返って

2023年よりJAあさひかわ北野支所の女性部長に任命され、1年過ぎようとしています。

ポッチャやヨガ等の軽スポーツ、動物クリップやPPバンドのカゴ作り、四季の里での加工、北野支所前の花壇作り等の活動を行ってきました。

11月には、JA女性部でエスコンフィールドに行き、スタジアムツアーに参加してきました。

また、クボタアグリフロントの施設も見学させていただきました。

他の支所の女性部の方々との交流等、楽しい時間を過ごしました。

初めて議会も傍聴させていただき、また女性議員の方と懇談会も行い、大変勉強になりました。

まだまだわからないことばかりですが、部員の皆様の助けを借り、今年一年頑張っていこうと思います。

スーパーのトイレ

久し振りにスーパーのトイレを使わせてもらい、ほとんど手を触れず使用できるのに感心しました。

コロナがあり、感染対策からの行き届いた使用に心掛けたものと思えました。

今朝の新聞で能登地震の「女性 不安な避難生活」の記事を読みました。避難生活をしている方の記事に、着替えスペースがない、男女共用の仮設トイレ、夜は暗くて不安で使用を控えている等、不自由な生活状況が記されていました。2020年内閣府では、すべての人が安心して過ごせる避難所運営のガイドラインを公表しているようですが、運営側の大半が男性である避難所も多く、声を上げにくい現実。スーパーの清潔なトイレを使い、当たり前の日常に感謝しました。掃除をしてくれる方、使う人、皆が互いの立場を理解して日常生活を過ごせること、ありがたいです。

被災された方々に心寄せながら、少しでもできる協力をしていけたらと思えました。

あったか食堂で活躍中。
お料理の腕前天下第一品



ひろみ
三上 尋美 さん (北野東町内会)



毎週レッドコードで鍛えています

議会へ行こう！

6月20日(木) 21日(金)

改選から早1年！

熱のこもった質問をぜひご覧ください。

お問い合わせはこちら

TEL 0166-74-3660

FAX 0166-87-2196

✉ gikai@town.takasu.lg.jp



- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはびねすで中継を予定しています。

《クイズ応募方法》2ページのクイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。

①よかった記事 ②こうしたらもっとよくなるというアドバイスもいただければ幸いです。

《あて先》「議会事務局 宛」

〒071-1292 北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号

《しめきり》令和6年5月31日(金) 消印有効

ご記入いただきました個人情報、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《前回のクイズの答え》

問1 使用料 問2 マニフェスト 問3 2025